



冷夏でも 祭りはホットに

「ヤマセ」が続いた今年の夏でしたが、冷夏を吹き飛ばそうと気合いの入った祭りで心はホットになりました。



伝統の踊りを受け継ぐ

◎十三の砂山まつり

八月十四日、十六日
鎮魂歌と言われている「十三の砂山踊り」親から子へと踊りの継承がされています。今回、天狗、しし踊りが祭りを盛り上げました。

◀ 伝統のある「十三の砂山踊り」は次世代に引き継がれて



▶ 「しし」も冷夏を吹き飛ばせばかりに登場

◀ 山車出陣で景気回復を願う



▶ 今年の主役「天狗様」の登場



大型ねぶた堂々と

◎安東の里夏祭り

八月十六日・二十日
ねぶた運行によさこい踊り、坊様踊りが花を添えました。

◀ ねぶたを引く手に力が入る



▶ 伝統の坊様踊り

お岩木山に出来秋を願う

◎脇元岩木山神社大祭

八月二十七、二十八日
二十七日は前夜祭で、神楽、カラオケ大会等にぎわいました。二十八日は荒磯崎神社からもや山まで山かけが行なわれ、五穀豊穣を祈願しました。



▶ 五穀豊穣への思いはもや山へ

二十一世紀を開くのはあなたたちです

平成十五年度

成人式

八月十四日 コミュニティセンターにおいて平成十五年度成人式が開催され、対象者（昭和五十七年四月二日から昭和五十八年四月一日までに生まれた人）三十七人のうち三十一人が参加しました。

木村教育長が「広い心と豊かな創造力を持ち、世界の中の日本人になって欲しい」とあいさつ。高松村長が「至難の時代を生き抜くには常にチャレンジしていくこと、感性を持つこと、国際社会に堂々と立ち向かって



乾杯の音頭で祝宴にはいりました

ほしい」と祝辞を述べました。その後、議会議長、選挙管理委員長、新成人代表の一戸薫さんが、「大人になった今では想像も付かないほど周りの人に気を使うこともできて、成長していることにびっくりしています。そしてこの村に生まれたことを誇りに思っています。これからも見守っていただきます」と誓いの言葉を述べました。

一分間スピーチではそれぞれが近況や、将来の夢などを報告しました。また、海外在住の恩師からのビデオレターは新成人の笑いと涙を誘っていました。



晴れてお酒も飲めます

直撃インタビュー



一戸 薫さん

Qどんな大人になりたいですか
いつまでも夢を持って子ども心を持っていたい。

Qいつも心がけていることは
何をするときも一生懸命に取り組むこと。

Q将来の夢は
できたら自分の生きたという証を残す仕事をしたと思うています。

Q今、一番したいことは
旅行です。
Q好きな異性のタイプは
自分を持っている人です。



新成人による1分間スピーチ



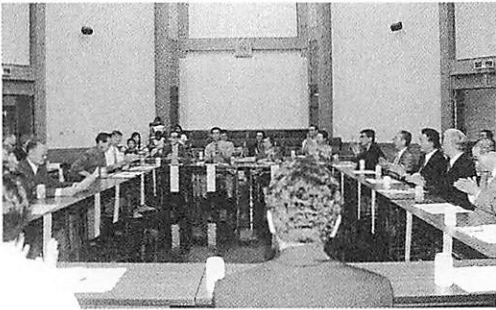
なじみの顔と うれしい津軽弁 ～「関東地区ふるさと会」ふるさとに集う～

八月九日、青森あすなろホール市浦において、意見交換会が行なわれ、市浦会員十六人、村在住者十九人合わせて三十五人が参加しました。

交流会は、市浦村コミュニティセンターで市浦会員、村からの参加者合わせて八十一人が参加し交流を深めました。

意見交換会では、合併情報、経済状況、農産物状況、少子高齢化状況について活発に意見が飛び交いました。合併後の新町名、合併後の「ふるさと市浦会」のあり方については、特に熱心に意見交換がされました。

交流会では、高松村長が、小さな学校でも大きな栄冠を手にした金木高校市浦分校の話題、合併状況等近況報告を含めた、歓迎のあいさつをしました。



▲活発な意見が出された意見交換会

鳴海正毅市浦会会長が「ふるさとに恩返ししたいという気持ちになりまし。高齢者福祉に役立てて下さい」とあいさつ。続いて、東京青森県人会副会長の野呂妙子さんの祝辞があり、村議会議長の乾杯の音頭で交流会が始まりました。なつかしい顔、味、そして言葉に会場は、終始、笑顔と歓声に包まれていました。



▲再会を祝してカンパイヤ

善意に感謝します

寄付金贈呈セレモニー

鳴海正毅会長から、高松村長へ寄付金の目録が手渡されました。(寄付金名簿参照・六頁)

続いて、村からの感謝状が、高松村長より鳴海会長に贈呈されました。

高松村長が「この寄付金は大切に使用したい、会員の皆様に感謝申し上げます。また、宍戸さんからは村長室において寄付金をいただきました。すでに宍戸文庫を設置しております。たび重なるご厚意に感謝申し上げます。皆様からのご厚意は下記のように使わせていただきます。



▶現在八十八歳、なおもかくしやくとしてゐる宍戸さん(左)

▼ふるさと市浦会 二百一十二万

五千円(ウオーターベッド型 マッサージ器購入)

▼宍戸貞市さん(脇元出身・横浜市戸塚区在住) 一百万円 (福祉基金の設置)



▲目録を受け取る高松村長



▲感謝状を受ける取る鳴海会長

▶ 私達同級生です。昭和二十三年生まれ子の年・牛の会と申します。これからクラス会だよ。



コメント

青山 力さん (太田出身—写真上右から4番目)
「第1回目から参加しているよ。同級生に会うのが楽しみ、還暦の祝いはハワイでやるよ。」

柴田秀子さん (太田出身:旧姓野上—写真上右)
「太田の道路を今朝、通ったら涙が出ました。」

▶ がつばど同級生なじんだ顔に会えるのが楽しみ。何を思いでも参加しているよ。



▶ 小田桐達也さん (右から二番目) なつかしいし、かわってない



▶ 心を和ませてくれたアトラクション



▶ 「こんぶまま」めよ。



▶ 懐かしい太刀振りうーんよみがえってきた。



▶ しゅうら音頭が始まる頃には会も終盤別れが惜しまれる



▶ お元気で、皆様にまた会う日まで



▶ 野呂妙子さん(右端)「温かい雰囲気にもまれてる市浦が好きです」



▶ お別れのハーモニをひびかせて曲は「ももたろうさん」遠藤昌浩さん「出身は東京です。市浦は心のふるさとです」



ありがとうございました

寄付金名簿

金一、〇〇〇円

伊南 進・井出 幸枝
伊南 杉子・小林 常敏
君嶋 瑛子・瀬尾 昭則
古田 君子・三上 直衛
松本 久子・村元 利行
三和 明廣

金二、〇〇〇円

石澤 慶一・大川 有二
今井 隆雄・相川 瞳
工藤 智英・小林 雪子
川内 敏範・工藤 真紀
今野 エリ・白川 治三郎
奈良 仁・長川原 洋子
奈良 英孝・藤田 実
藤田 貞則・三好 みさ子
米谷 宣孝

金三、〇〇〇円

奥野 サキエ・女瀧 正美
青山 義光・青山 るい子
岸本 貞子・合田 恵美子
櫛引 昭道・工藤 清
角田 美保子・佐藤 孝悦
豊島 騰・東野 義光
鳴海 美子・奈良 匡代
成田 武・福島 照夫

金五、〇〇〇円

植木 むつ子・遠藤 美保子
井深 福子・稲田 るみ子
石岡 幸雄・木津谷 稔
木津谷 妙子・梶浦 裕行
加納 正彦・木村 富江
佐藤 国光・桜庭 鶴美子
重松 秀子・佐藤 裕
豊島 順三・竹谷 栄子
鳴海 敦子・鳴海 利音
奈良 弘・成田 哲則
野木 定子・星野 修子
藤田 文彦・原子 恵美子
三橋 信子・丸山 梅男
三上 昭雄・山田 章子

金一〇、〇〇〇円

伊藤 朝子・落合 孝子
秋田 谷宗雄・猪島 光子
伊藤 ふみえ・伊南 喜仁
葛西 邦夫・工藤 兼春
北澤 たい子・工藤 夢外
小寺 久幸・釜 達夫
志田 ヨシエ・佐藤 正

金二〇、〇〇〇円

阿部 好信・伊南 誠
三和 清造・三和 豊房
成田 敏明

金三〇、〇〇〇円

宍戸 貞一・鳴海 正毅

金五〇、〇〇〇円

岩間 剛・三田 敏子

有志寄付金

赤木 正芳 一〇、〇〇〇円
東京相内会(会長・青山力) 三〇、〇〇〇円
米谷 継雄 三〇、〇〇〇円
本莊 完 一五〇、〇〇〇円
鳴海 正毅 五〇、〇〇〇円

成田 文忠 一〇〇、〇〇〇円
葛西 孝 一〇〇、〇〇〇円
鳴海 憲也 一〇〇、〇〇〇円
伊南 喜仁 一〇〇、〇〇〇円
葛西 邦夫 一〇〇、〇〇〇円
青山 力 一〇〇、〇〇〇円
三上 春男 一〇〇、〇〇〇円
小田 桐達也 一〇〇、〇〇〇円
千葉 信義 一〇〇、〇〇〇円
◎会費寄付金 八三三、〇〇〇円
◎有志寄付金 一、二二〇、〇〇〇円
◎交流会参加者 一七二、〇〇〇円
◎合計 二、一一五、〇〇〇円

沖繩の善意に感謝 平和教育に使って

沖繩市在住の上原さんは、戦争から奇跡の生還を果たし、第二の人生を「恩返し」に捧げようと平和を訴え全国寄付行脚をしている方です。市浦村へは二月に砂糖キビ、黒砂糖を寄贈していただき、保育園、小学校等に分配し喜ばれました。

今回は(八月二十一日)直接役場を訪れ高松村長に、平和教育に使って欲しいと現金二十万円を手渡しました。高松村長は「次代を担う村の子どもの平和教育に使います」と受け取り、感謝状



感謝状を受ける上原さん



地域づくりは人づくり 人づくりは生涯学習

教育委員会だより No.23

順位をひとつ上げ

第11回市町村対抗県民駅伝競争大会

九月七日(日)、青森市において、第十一回市町村対抗県民駅伝競争大会が県内六十七市町村が参加して開催され、アスパム前から県総合運動公園陸上競技場までの三三・八kmの八区間をタスキリレーしました。

今年は、前回大会で最下位の

結果を受け、選手、スタッフは早くからトレーニングを開始。総合タイムを昨年より、約八分三十秒縮めるも、順位をひとつあげるにとどまりました。
なお、各区間の走者は次のとおりです。

★駅伝出場メンバー

- ・第一区 山谷 正志 (市浦中教諭)
- ・第二区 湊 平太 (市浦中三年)
- ・第三区 榊原 滋高 (市浦村教育委員会)
- ・第四区 太田 淳 (市浦村社会福祉協議会)
- ・第五区 矢本 愛理 (市浦中二年)



今大会の選手・役員団

- ・第六区 岡 実 (市浦中三年)
- ・第七区 秋田亜里美 (五所川原農林高二年)
- ・第八区 岡 悟 (弘前福祉短期大一年)
- ・総合タイム 二時間十六分二十四秒
- ・総合順位 六十六位
- ・村の部順位 二十四位

ロシアの児童生徒と交流会

大沼公園でにぎやかに

八月三十日(土)、市浦小六学年児童三十名と市浦中学生徒会役員七名が参加して、ロシアハバロフスク地方の児童生徒三十八名と相内地区の大沼公園で交流会を行いました。

歓迎セレモニーでは、市浦中学生徒がロシア語をおりませながら司会を務め、八月にハバロフスク地方を訪れた長尾南さん(市浦中三年)ら四名が感想発表、続いて、よさこいソーランで踊りの交流会を行いました。

昼食は、市浦小六学年父母の協力のもとバーベキュー。ロシアの子どもたちもおにぎりやシジミ汁といった日本食をおいしそうに食べていました。

子どもたちは、この後もボールを使って遊んだりプレゼント交換、ロシアのゲーム、シジミ貝を使ったキーホルダーづくりや記念植樹など市浦での一日を満喫していました。子どもたち



記念撮影も仲良く

は、言葉は通じなくても身振り手振りでお互いのコミュニケーションをとり、天気にも恵まれ、さわやかな交流会となりました。

体育大会結果

★第二十四回B&Gスポーツ大会青森県大会

八月九日(土)、東北町を会場に「第二十四回B&Gスポーツ大会青森県大会」が開催されました。

主な結果は次のとおりです。
▼カヌー競技・中学生男子の部

- ・第一位 山崎 俊(二年)
- ・第二位 中井 亮(三年)
- ・第四位 久保田聖也(二年)
- ★第五十八回市町村対抗青森県民体育大会
- 八月十六日(土)、十七日(日)の二日間に行われ、青森市を会場に「第五十八回市町村対抗青森県民体育大会」が開催されました。
- 主な結果(村の部)は次のとおりです。
- ▼陸上競技
- ・三十歳代(男子100M)
- 第一位 梶浦 武也(十三)
- ・男子走り幅跳び
- 第三位 秋田谷恵一(相内)
- ▼野 球
- 準々決勝
- 蓬田村 7-0 市浦村
- ▼ポウリング
- 団体戦 第三位 市浦村
- ▼ゲートボール
- ・一回戦(決勝トーナメント)
- 市浦村 23-9 東通村
- 準決勝
- 天間林村 6-23 市浦村
- ・三位決定戦
- 市浦村 15-21 南郷村
- ▼サッカー
- ・一回戦
- 市浦村 1-0 常盤村
- 準決勝
- 南郷村 1-0 市浦村



秋ですね。秋といえば実りの秋、読書の秋、運動の秋、食欲の秋、海遊館の秋!?は言わな
いか(笑)自然の恵みを大いに受け
冬支度もそろそろと言った何か
と忙しい季節ですね。今年の秋
は海遊館で身体のメンテナンス
してみてください?
運動の秋ということで、去る
九月五日、六日の二日間コミセ
ンにおいて健康測定が行われ、
日頃運動している方、これから
運動をしようとしている方参加
者は様々、二日間で約五十名の
方々が笑いあり、涙あり(笑)の
健康測定に参加されました。こ
の海遊館の健康測定は、自分の
体力を改めて確認することで日
頃の体力づくり、健康維持に役
立てていただきたいと今回で七
回目を数えます。現在は年二回
実施しており、海遊館の会員だ
けでなく村民の方どなたでもお
受けいただけます。内容は握力、
肺活量、体前屈などのおなじみ

の測定から小さい豆をお箸で三
十秒間で何個移動できるかとい
うその名も『豆運び』と、いい
大人がちよっとむきになっちゃ
う楽しい測定まで十数種目あり
ます。
次回は是非皆さんも参加して
下さい!海遊館スタッフ一同お
待ちしております。



反復横とび



8の字歩行

健康通信

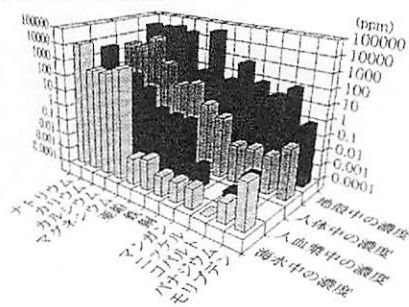
海水の秘密

海遊館と言えばやっぱり海水

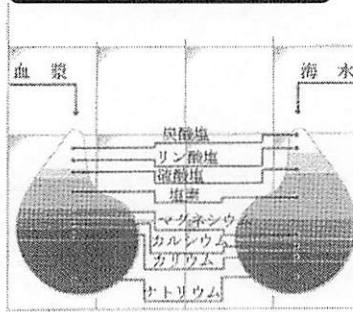
プールですね。もう一度原点に
返って海遊館のプールを満たし
て私たちを癒してくれる海水の
秘密に迫ってみましょう。
地球の約七十%は海で覆われ
ています。この海が太古の昔か
ら様々な生命を育んできました。
全ての生命は海を起源とする
と言われるように、私たち人間に
現在でも大きく影響しています。
海で採った魚は大切な栄養源と
なり、海から蒸発した水蒸気が
雲を作り雨を降らせ大地に潤い
を与え豊かにします。普段あま
り意識しませんが私たちの生活
に密接に関わっています。
前置きはさておき海水の特徴
に迫ってみましょう。海水は塩
水というイメージがあると思い
ますが、いわゆる塩分だけでなく
様々なミネラルが含まれてい
ます。これら全てが私たちの身
体になくてはならない物です。
ここで不思議なのは海水の成分
海水の成分は人間の体液(細胞
液)のミネラルバランスとほぼ
同じなので、人間の身体の中に
海があるようなものなのです。
体調が崩れた時などはこの体内
のミネラルバランスも崩れるの
で人間本来のミネラルバランス
を持つ海水に浸かることで体調
を整える効果があります。昔の
海水に関する有名な実験があり
ます。犬の血液と海水を入れ替
えるといふ大胆な実験です。そ
の犬は始めはショック状態にな

ったものの、一週間後には実験
前よりも元気になったというこ
とです。すごいですね、海水:

(Lautursの論による)



血漿と海水の質的類似



その他の海水の特徴という
海水の四大特性というものがあ
ります。浮力、抵抗、水圧、水
温です。

- 抵抗
- 水圧
- 海水
- 浮力
- 水温

浮力 ご存知のとおり、水に
は浮力があります。更
に海水は真水よりも浮力は大き

く、膝や腰などへの負担が軽減
されます。更に筋肉の緊張を和
らげ痛みの軽減にもなります。
リハビリに水中が適しているの
は、このためです。

抵抗 水の抵抗の特徴は、水
中で手を早く動かそう
とすればするほど抵抗が大き
くなる。これは出した力に
抵抗がかかるため、個人にあ
った抵抗で無理なく運動が
できるということ。

水圧 バスカルの法則、聞い
たことありませんよ
ね?水圧は水深が深くなると比
例して大きくなります。水圧が
かかると静脈の流れが良くなり
ます。その他に関節を安定させ
痛みを軽減させる効果もありま
す。

水温 水は空気の25倍で熱を
奪います。そのため水
に入るだけで代謝が活発になり
ます。海遊館の水温は不感温度
(34℃~37℃)に設定しており、
これは熱くも寒くもない水温で、
心身共にリラックスし易い水温
です。

このような特性を最大限に生
かすように元気海プールは設計
されています。無理なく、楽し
く、且つ効果的に使えるのが海
遊館の海水プールなんです。膝
や腰の痛み、肩こり、冷え性、
慢性的な疲労でお悩みの方だ
まされたと思って海遊館に一度足
を運んでみては?

市浦村の埋蔵文化財①⑦

平成15年度 檀林寺跡発掘
調査の現地説明会が行われる

教育委員会では、八月三十一日に中央大学とともに、十三湊遺跡の南端に位置する檀林寺跡の発掘調査の成果を公表するため、現地説明会を行いました。



▶出土した遺物の説明

当日は約八十人の参加者を得て、盛大に開催することができました。現地は県道に面した松林（保安林）の中であり、お墓と思われるマウンド状遺構が多数確認できました。調査では、お墓の一部を発掘しています。

檀林寺跡は室町時代（十五世紀）に栄えた寺院跡であり、周辺には多数のお墓が分布していることが分かりました。恐らく安藤氏の庇護のもと、たくさんのお僧侶たちが生活していたものと思われれます。

★お知らせ

十三湊遺跡の発掘整理室が十月1日から旧十三小学校に移転しました。

今後は、十三湊遺跡の調査研究だけでなく、津軽北部地域の文化財行政の拠点となるよう環境整備して、内容を充実させていきたいと考えています。ワクワク。

（文責 市浦村教育委員会
学芸員 榎原滋高）



▲説明会の様子

日本海沖震源 震度5 大地震発生津波警報発令 を想定して防災訓練を実施

九月七日、十三地区住民を対象に防災訓練を開催しました。訓練は、防災活動の円滑化を図るとともに、地域の防災に対する理解と意識を高めることを目的に実施しました。

訓練では、激しい地震により建物の倒壊や、火災が多発したことを想定。災害対策本部設置訓練、被害状況確認訓練、事故車両救出訓練、旧十三小学校屋上からの高所救助救急訓練、炊き出し訓練などが行なわれました。

訓練には、消防関係者をはじめ、十三地区住民、子供会、婦人防火クラブ、PTAなどの団体を含め、約二百人が参加し、本番さながらの訓練に真剣に取り組みました。



災害対策本部を設置

備えあれば憂いなし

非常持ち出し品を準備しよう

避難した場合、避難所での生活に最低限必要な物を準備しておきましょう。

家の家具を固定しよう

《屋内》

○家具や、大型電気製品など転倒の危険があるものは壁や、柱にしっかりと固定する。

○食器棚やサイドボードなどのガラス戸が、倒れて散乱しないように散乱防止フィルムなどを貼る。

○棚の上に物を置く場合はしっかりと固定する。

《屋外》

○不安定な屋根場のアンテナや、屋根瓦は補強する。

○ブロック塀や石垣の崩れは補強する。

○プロパンガスのボンベは鎖で固定する。

※家の中で一番安全なのはどの場所か、どこに非常持ち出し品があるのか、誰が持つのか、避難場所はどこか、どの道を通るのか、家族が離れ離れになった時の連絡方法など話し合っておきましょう。

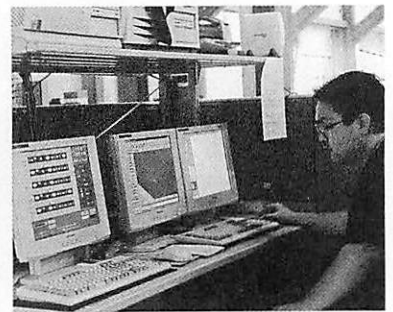
非常持ち出し品の例

- 貴重品 (現金・健康保険証・免許証・通帳)
- 携帯ラジオ (予備電池は多めに用意を)
- 応急医薬品 (病人、老人の常備薬はわすれない)
- 非常食品 (火を通さず食べられる物、賞味期限を確認する)
- 衣類 (上着、下着、靴下など)
- 懐中電灯 (予備電池を忘れずに)
- その他 (軍手、ライター、ビニール袋・タオル、はし)
- 粉ミルク・おむつ (乳児のいる場合)

※阪神大震災の時、食料は配給されても、はしがなくて困ったそうです。また、乾パンは水分が少なくて喉つまりの原因になったそうです。



海面監視



十三漁港海面水位を受信



避難住民の受付開始



バルブを開くと放水開始



住民によるバケツリレー訓練



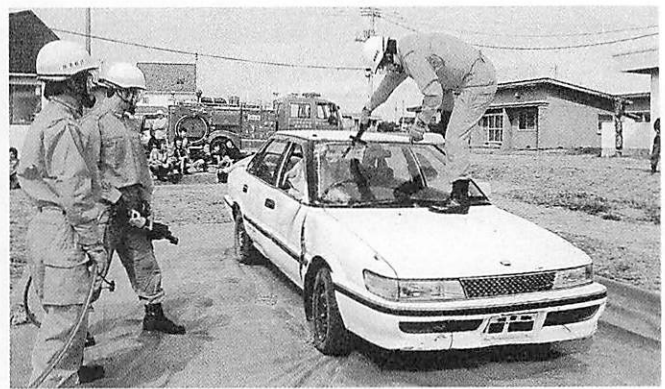
婦人防火クラブによる放水訓練



子ども会もバケツリレーに参加



消火はあわてずゆっくりと



事故車両からの救出開始



日赤奉仕団（十三分団）による炊き出し訓練



2階からの救出救助

出来事スケッチ

平和を願い献花 戦没者追悼式

八月七日戦没者の追悼式が山村広場で行なわれました。遺族二十六人、関係者十三人が出席しました。青森県遺族連合会長が「郷土を愛し、戦争の犠牲になつた人達のご遺族に対し深く追悼の意を表します」とあいさつ。続いて、高松村長が「戦後五十八年、戦争も風化しつつあります。過酷な戦争の事実が忘れられつつあります。幾千万の尊い命が歩んだ道は長く、国を案じながら散つた御霊に深く追悼の意を表します」とあいさつしました。

その後、関係者、遺族による献花が行なわれました。



黙とうを捧げる遺族

今年のジャガイモは大きいよ

八月十二日、家族会（しじみの会）当事者会（ここにこ会）ポランテアが栽培したジャガイ



悠遊郷の入居者と記念撮影



アトム保育園の園児と記念撮影

モをアトム保育園、悠遊郷に格安で提供しました。会員たちは、種植えから草取りまで気を配り栽培した結果、大きいジャガイモができたということです。収益金は活動費に充てるといこうとです。

豊漁 安全を願って しじみ供養

八月十四日、十三漁協荷さばき場でしじみの供養祭が行なわれ、関係者二十人が参加しました。しじみ漁の、十四年度の実績は、千七百トン、十一億二千万と市浦村の主要産業となっています。

漁の安全、豊漁を祈願し毎年行なわれているものです。



しじみ供養に参加した関係者

絶好の風 ウィンドサーフィンイベント

八月十六日、十七日の二日間、十三湖において「ウィンドサーフィンイベント」が開催されました。十三湖レーシング実行委員会（渡辺禎仁会長）の主催により開催され、会場となつた十三湖には県内外のサーファー約二十人が集まり、技を競い合いました。十三湖畔には、

見物客等百人が集まりました。最初にプロ四人が模範演技を披露しました。ジャンプ、ターンなど華麗な演技に会場が沸きました。続いて競技会ではプロ、アマ選手一緒にフリースタイル等の競技を競い合いました。渡辺委員長は、「十三湖はウィンドサーフィンステージとして世界の五本の指に数えられる素晴らしい会場だと、参加選手より絶賛をあげている」と話していました。



国民年金コーナー

少子化社会の老後を支える国民年金

かつてのベビーブームの時代には、年間二七〇万人も子どもが生まれていましたが、昨年の出生数は一一五万六千人（厚生労働省発表）で、前の年を一万五千人も下回り、少子化が一層進んでいます。急激な少子化の進行は、将来の経済社会に大きな影響を及ぼすことから、厚生労働省が「少子化対策プラスワン」を策定するなど、政府をあげての少子化対策が進められています。

一方、平均寿命は、女性が八

四・六歳、男性が七九・七歳と、五年前よりそれぞれ一・八歳、一・三歳も伸びています。特に六五歳時点での平均余命は、女性が二二・四歳、男性が一七・五歳と、五年前よりそれぞれ一・五歳、一・一歳も伸びています。

長寿は喜ばしいことですが、少子化時代には、長い老後生活の保障を、自分の子どもに頼るだけでは万金とは言えません。貯蓄などを備えることも大切ですが、将来の経済社会がどうな

っているのか、そして、自分が何歳まで生きて、どれくらいの備えが必要なのかは、誰にも分かりません。少子化時代には、社会全体で老後を支える仕組み、すなわち国民年金などの公的年金の果たす役割がますます大きくなるわけです。

少子化時代にも安心できる老後を迎えられるよう、国民年金の保険料を忘れずに納めましょう。

平成14年度 市浦の年金受給状況と保険料納付額について

国民年金の目的

国民年金は、すべての日本国民を対象として、歳をとった時、また不幸にして障害者や寡婦、母子家庭となってしまった時に支給され生活の安定を図ることを目的としています。

給付金	受給者数(人)	受給金額(千円)
老齢年金・老齢基礎年金	872	479,420
老齢福祉年金	6	2,472
障害年金・障害基礎年金	75	68,792
遺族基礎年金	13	11,843
死亡一時金	4	680
寡婦年金	6	2,808
計	976	566,015

被保険者数(人)	納付者数(人)	納付保険料(千円)
第1号	764	510
任意加入	17	17
第3号	127	
計	908	527
		75,504

保険料の納付はあなたから
未来のあなたへの贈り物です。

消防・ネットワーク

火事と救急・救助は一一九番

青森救助技術大会行われる

第三十二回消防技術青森県大会が七月三日に青森県消防学校にて行われました。

津軽北部広域事務組合からも十八名（十三組）の隊員が参加し、ロープブリッジ渡過に出場した三上隊員と阿部隊員が上位入賞を果たし東北大会出場を決めました。

避難訓練行われる

その他の結果は次のとおりです。

★ロープブリッジ渡過

- 入賞 三上 耕路（中里署）
- 入賞 阿部 浩美（中里署）
- 入賞 櫛引 隆宏（消防本部）
- ★ロープ応用登はん
- 入賞 白戸・片山チーム（金木、中里署）
- 入賞 浅利・今チーム（金木署）
- 入賞 田中・久保田チーム（市浦署）
- ★ほくく救出
- 入賞 今・田中チーム（中里、金木署）
- 入賞 瓜田・小倉チーム（小泊署）

八月五日に宮城県仙台市泉総合運動場で行われた第三十二回東北地区消防救助技術大会においてロープブリッジ渡過に出場した三上、阿部両隊員は入賞を果たしました。

九月一日、市浦小学校において火災発生時において火災発生時に安全、迅速に避難することと、自らの命を守ろうとする気持ちを育てる事を目的に避難訓練が行われました。火災発生から避難するまでの訓練がテキパキと行われました。



訓練後消防車を見学する市浦小児童

アーク溶接(電気)特別教育講習会実施要領

- ◆講習対象 アーク溶接機(電気)を用いて金属の溶接、溶断等(以下「アーク溶接等」という)の業務
 - ◆開催日時 10月27日から29日まで(3日間)
午前9時から午後5時まで
 - ◆開催場所 学科:五所川原市大字唐笠柳字藤巻495-3
(社)西北労働基準協会2階大ホール
実技:五所川原市大字太刀打字常盤83-2
(株)シンメイ鐵工構内
 - ◆受講資格 満18才以上の者
 - ◆受講料 会員10,945円(非会員:12,945円)
 - ◆締め切り 10月21日か、定員80名に達し次第締め切ります。
 - ◆申込先 五所川原市大字唐笠柳字藤巻495-3
(社)西北労働基準協会 ☎0173-35-6336
- ※詳細についてのお尋ねは、当協会へご連絡下さい。

総務課統計係からのお知らせ

全国から見た青森県の位置や県内の統計資料など最新の情報が分かります。

- ◆頒布価格 ①青森県民手帳……………500円
②青森県勢グラフ……………450円
③統計でみる青森県の姿…1,400円
④青森県統計年鑑……………5,000円
- ◆申込先 総務課企画財政係 ☎62-2111(内線19)
- ◆申込期限 11月14日
- ★2003年漁業センサスに後協力を
漁業センサスは、漁業の実態を明らかにするため、5年ごとに実施する大規模な調査です。今回は、11月1日現在で漁業を営む漁家や会社などを対象として全国一斉に実施します。調査員が訪問して調査した内容は、統計資料を作成するためだけに使用されます。ご理解の上、協力をお願いします。

家庭系パソコンもリサイクルへ

★10月1日から実施

家庭から排出されるパソコンについて、メーカーがリサイクルを行うことになりました。

- ①パソコンリサイクルの対象品目は個人で購入し不要になったデスクトップパソコン、ノートパソコン、CRTディスプレイ、液晶ディスプレイ。
- ②廃パソコン処理はメーカーに回収申込みをすることになります。メーカーからの指示により、日本郵政公社(郵便局)が回収します。
- ③10月1日以前に購入したパソコンはリサイクル料金が必要です。
※消費者負担額の目安(消費税別途)
○デスクトップパソコン・ノートパソコン・LCDディスプレイ……………3,000円
○CRT(ブラウン管)ディスプレイパソコン……………4,000円
※製造業者(メーカー)により、リサイクル料金が異なることがあります。
- ④10月1日以降に購入したパソコン(PCリサイクルマーク入)はリサイクル料金が不要です。

▶お問い合わせ 住民福祉課 ☎62-2111(内線:33)
★なお、ホームページでもご覧になれます。
<http://www.pc3r.jp/home.html>

総務省からお知らせ

総務省から朝鮮半島・台湾出身の旧日本軍属であった方とその遺族の方へ慰謝金・見舞金が支給されます。

- ◆対象 日本永住の特別永住者で昭和12年7月7日以降公務傷病により次のいずれかに該当する方、①昭和16年12月8日以降に死亡した方の遺族、②重度の障害状態にある方またはその遺族
- ◆請求場所 住民福祉課 ☎62-2111(内線:31)
- ◆請求期限 来年3月31日

たからっ子

柳谷 凱宗ちゃん
美奈子さん(お母さん)



ケーキおいしそうでしょ…
(支援センターお誕生会で)

水稲生育状況を視察

9月10日、県の長谷川出納長が水稲生育状況調査に訪れました。

高松村長が、「今年は天候不順により、出穂期に低温であったため、不稔が予想されています。農業共済金の早期支払い等についてお願いしたい」と訴えました。

また秋田谷長一郎さんは「登熟の時期を迎えたのに実が入っていない。作柄が大幅に減ることでしょう。大変落ち込んでいます。何とか保証をお願いします」と訴えました。

長谷川出納長は、「皆さんのつらい思いを強く受け止め、早急に対策を講じます」と、農業関係者を激励し、実の入らない稲を手にとって状況を確認していました。

市浦村では、9月5日に「市浦村農作物冷害対策本部」を設置しています。



不稔の稲穂を手にとる
長谷川出納長(右)



市浦村の人口と世帯数 平成15.8.1現在

大字名	前月人口	人口	世帯数
相内	1,152	1,153	401
桂川	58	58	22
太田	238	239	81
脇元	505	504	202
磯松	290	290	107
十三	781	782	265
計	3,024	3,026	1,078

平成15年度MOA
美術館津軽北部児
童作品展開催

MOA美術館児童作品展は、子どもたちの創作活動を奨励することで「生命を尊ぶ心」「心豊かな人間」の形成を目的として、津軽北部（金木町・中里町・市浦村・小泊村）の四町村の子どもたちの書道・絵画を展示いたします。

作品に込められた子どもたちの心を受けとめ、励ましていただければ幸いです。

- ◆名称 MOA美術館 津軽北部児童作品展
- ◆日時 平成十五年十月十八日(土) 平成十五年十月十九日(日) 午前九時～午後四時
- ◆場所 中里総合文化センター 「パルナス」
- ◆表彰式 平成十五年十月十九日(日) 午後一時より ※表彰式終了後は、尺八やお琴の演奏があります。無料ですので隣近所お誘い合わせのうえお越し下さい。
- ◆後援 三和 孝徳(市浦村大字相内)

各町村・各町村教育委員会・津軽北地区保護司会・津軽北地区中里更生保護女性部

▼お問い合わせ
「MOA美術館津軽北部 児童作品展」事務局
菊池 愛子(中里町深郷田)
☎五七二二七五二

行政相談所を開設
します

相談は無料で秘密は守ります。

★行政相談員 三和 孝徳さん

村の仕事先のことや身の回りで見えているトラブルなど困っていることがありましたら、気軽に行政相談においでください。

- ◆行政相談 困っていることがある。このようにしてほしい。どこに相談したらよいかわからない。などの場合は、下記により相談をご利用下さい。
- ◆日時 平成十五年十月二十一日 平成十五年十月二十二日 午後一時～四時まで
- ◆場所 青森あすなろホール しゅうらホール
- ◆相談員 三和 孝徳(市浦村大字相内)

☎六二一三〇七〇

※行政相談は自宅、又は電話でも受けていますので気軽に相談してください。

労働保険の加入手続きはお済みですか!!

労働保険は、労働者が失業した場合に生活の安定を図るための失業給付を行う雇用保険と、労働災害により負傷等をした場合の補償を行う労災保険からなっています。

労働保険は農林水産業の一部を除き、労働者を1人でも雇用していれば、その事業主は加入手続きをしなければなりません。

★労働保険の加入はお早めに
『思わぬ労災 予期せぬ失業 しっかりサポート 労働保険』
ハローワーク五所川原
適用係(五所川原公共職業安定所)
☎三四一三一七一

- ◆日時 平成十五年十月二十六日(日) 九時～十一時三十分
- ◆場所 せひの見えるくまの市浦小学校学習発表会

県内の交通事故概況

		青森県交通対策協議会	
	8月中	年累計	
発生	726件 (-132)	5,882件 (+233)	死者の状況
	8人 (-4)	58人 (-10)	飲酒運転による死者 8人(±0)
死者	964人 (-142)	7,451人 (+128)	高齢者の死者 24人(-2) ～65歳以上の人～
			自動車乗車中の死者 26人(-7)
傷者			非着用死者 14人(-4)
			着用していれば助かったと思われる人 7人(-4)

*()内は前年。累計は1月から。速報値のため後日変更することがあります。

十月は「土地月間」です

一定面積以上の大規模な土地取引には国土利用計画法に基づく届出が必要です。

▼お問い合わせ
☎六二二二二一一(内線一九)

市浦小学校体育館
例年、近所の高齢者に子ども達が書いた案内状を直接届けていたのですが、児童数の減少等により、今年度から広報、有線等によりご案内いたします。

ご家族、ご近所お誘い合わせの上お出でください。地域の方のたくさんのご声援をお待ちしています。

健康への道

No.164

心の健康づくり研究会

〈50〜60代〉

身体に症状が表れ、動悸・腹
具合が悪い・だるい・頭が重い
・食欲がないという様な症状が
あります。

〈若い年代〉

気持ちの部分に症状が表れま
す。その内、静かなうつ症状と
して考えが進まない・やる気が
ない・眠い・疲れやすい等があ
ったり、反対に、やたらと心配
する・くよくよする・落ち着き
がない・眠れないといった症状
を示すこともあります。

★うつ病の経過

うつ病は、原因により4つに
別れます。

①内因性うつ病：原因は特にな
く自然になり、主に身体の症
状が表れます。

②性格が関係するうつ病：真面
目・几帳面・頑張り屋のタイ
プに発症しやすく50〜60代の
女性に多くあります。

③神経症性うつ病：真面目で気
が小さい方に多く何かしらの
ショック（引越しや配置替え）
により発症し、アルコール依
存症や過食症等とも関係して
いきます。



★うつ病の症状
自信をなくす・決断できない
・自分を責める・寝ても寝た気
がしない・食欲がない等があり、
年代において特徴があります。

④反応性うつ病：③がこじれた
もので、入院をして治療する
事が必要となります。

★うつ病への周りの心がけ

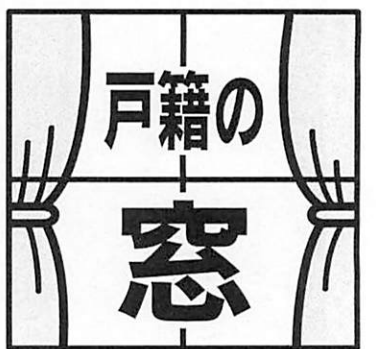
基本は、うつ病は「励まし」
はしないことです。難しいこと
ですが無視せず優しく見守るこ
とが大切になります。真面目で
気が小さい方が多いため、「気
を抜く」様に本人や周囲が心が
けたり、環境を整えることも必
要です。

ともすると「なまけている」
と思われるがちになりますが、そ
のことが病気を悪化させる要因
にもなります。

他の病気同様こじらせない前
に、気軽に専門医を受診し、必
要であれば服薬といった対処に
結び付くことが大切です。



講演をする須藤科長



▼お誕生

- 相川 郁哉 (十三) 聡貴
- 三和 ころ (相内) 弘樹
- 工藤 真希 (太田) 秀人
- 三和 尚矢 (相内) 貢
- 萬谷 七海 (脇元) 司
- 三橋 遥 (十三) 嘉津浩
- 工藤 愛唯 (相内) 邦博

▼ご結婚

- 岡本 光敏 (三廐)
- 秋田谷 めぐみ (桂川)
- 藤田 泰司 (稲垣)
- 山田 さくら (脇元)
- 石澤 慎一 (十三)
- 保泉 有里 (埼玉)
- 小寺 淳介 (車力)
- 神嶋 奈々 (相内)
- 成田 和友 (脇元)
- 高橋 彰子 (秋田)
- 煤田 光則 (十三)
- 笹森 有美 (常盤)
- 平山 聖一 (五所川原)
- 武田 幸枝 (相内)

▼おくやみ

- 佐藤 孝一 (脇元) 82歳
- 加納 喜代次 (十三) 72歳
- 工藤 カンコ (相内) 89歳
- 秋田 米子 (太田) 71歳
- 山内 恒久 (相内) 48歳
- 高橋 義英 (十三) 57歳
- 葛西 きわ (磯松) 78歳

あ と が き

今回、関東地区ふるさと市浦会
に同行しました。意見交換会から
交流会までの密着取材でした
「市浦村がなくなるのはやっつけ、
でも時の流れには勝てない」「市浦
の名を残せないものか」と遠く離
れていてもふるさとを思う気持ち
がひしひしと伝わって来ます。
また、村を良くしようとする頑張っ
ている村在住の人たちの気迫も肌
で感じられ心を打たれました。
続く交流会では「訪問できて嬉
しい」「ふるさとがあつて今の私が
いる」と訪問者。「よくきたな」
「元気がらな」と温かくもてなす村
の人たち。徐々に会う同胞の思い
は一つに……
取材を続けるうちに目頭が熱く
なり、カメラはいつもピントが合
いませんでした。
たぶん、みんなの心の中では、
合併になると「ふるさと市浦会」
はどうなるのかと思っているのに
違いありません。私は心の中で思
わず叫んでいました。「ふるさと市
浦、そして市浦会は永遠に不滅で
す」と。